

福光太郎調査報告

芦高郁子

東京都写真美術館 インターン

福光太郎調査報告

芦高郁子

I. はじめに

福光太郎（1898-1965）【図1】の写真作品および資料は1994年度に福の血縁者である長谷川義太郎氏より東京都写真美術館に寄贈されたものである。作品として20点、また資料として12点の寄贈があり、他に賞状【図2】などが確認できる。すべてが福のシアトル滞在時代のものである。東京都写真美術館に所蔵されている作品と資料については【資料1】にまとめている。福の現存作品は少なく、これまで確認されていたのは当館に所蔵されている作品のみにとどまっていた。しかし2017年7月、寄贈者である長谷川氏によって東京のMaruse B1 galleryにて「福光太郎」写真展が開催され、残存していた原板から再プリントが行なわれた。これにより所蔵作品以外のイメージを目にすることが可能となった。また今回の調査でワシントン大学図書館の「Alaska and Pacific Northwest early photographers collection」という太平洋北西部における1860年から1943年にかけての作品からなるコレクション内に1点の所蔵があることがわかった。この作品は当館に所蔵されている《In the Early Morning》（巻頭図3）と同一のタイトル、イメージのものである。

福光太郎という写真家については今までほとんど語られていない。それは福の写真家としての活動期間が短かったこと、残っている作品が少ないことなどが理由であろう。本論では、長谷川氏にお聞きできた福の来歴と共に福がシアトル滞時に制作した作品について同時代のシアトルにおける在米日本人写真家の活動から分析し、福光太郎という写真家の一端を明らかにすることを目的とする。

2. 福光太郎の来歴

福光太郎は1898年北海道に生まれた。1922年種牛の買い付けのため渡米。1930年頃からシアトルで食料品店を営み、その傍ら写真を撮り始めたという。32年、周りの勧めでロサンゼルスやミネアポリスのサロンへ出品。出品した作品のうちいくつかが選出される。その後34年には27のサロンで61点の作品が選出され、35年には100点以上の作品が選ばれた。34年からはシアトル写真協会（Seattle Photographic Society）に所属。シアトル写真協会は現

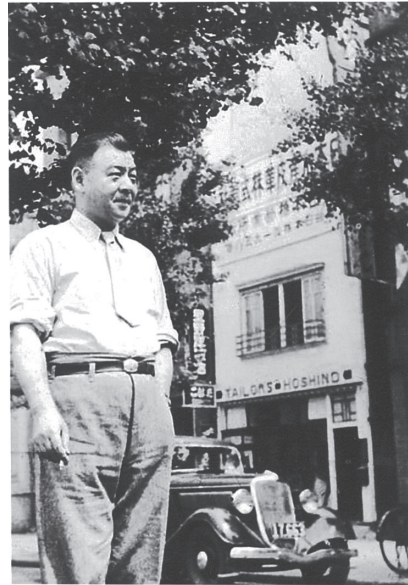


図1
福光太郎像（長谷川義太郎氏提供）

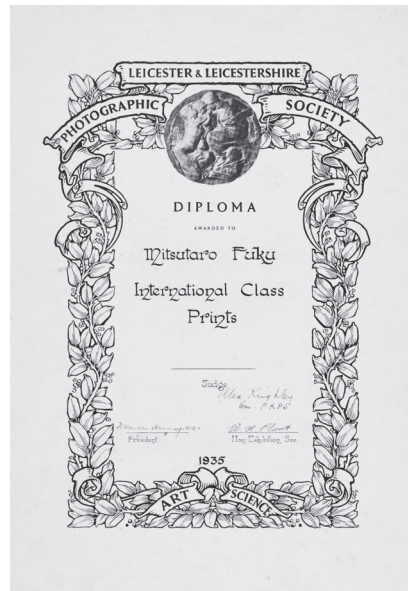


図2
「International Exhibition of Pictorial Photography, Leicester and Leicestershire Photographic Society」賞状

- ❖1 福光太郎の来歴については2017年7月28日の筆者による長谷川義太郎氏へのインタビューおよび『アサヒカメラ』1937年7月号内の「欧米の写真界を語る」における福へのインタビューを参考にした。

資料 1

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法	イメージ サイズ (h×w mm)	プリント 種別	備考 1	備考 2
10013261	福 光太郎	The Autumnal Shower (A)	1934	ゼラチン・シルバー プリント	346×267	ヴァンテージ・ プリント	台紙、裏にタイトル、サロ ン出品票	
10013262	福 光太郎	City Shadows (A)	1934	ブロムオイル印画	336×254	ヴァンテージ・ プリント	台紙、裏にタイトル、サロ ン出品票、スタンプ	
10013263	福 光太郎	Man-made Canyon (A)	1935	ゼラチン・シルバー プリント	344×269	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、スタンプ	
10013264	福 光太郎	The Spirit of The Falls	1933	ゼラチン・シルバー プリント	349×267	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013265	福 光太郎	At the Dry Dock (A)	1934	ゼラチン・シルバー プリント	244×292	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013266	福 光太郎	Sand Snake	1933	ゼラチン・シルバー プリント	226×320	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013267	福 光太郎	Seclusion	1934	ゼラチン・シルバー プリント	327×272	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013268	福 光太郎	The Old Homestead	1934	ゼラチン・シルバー プリント	253×335	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013269	福 光太郎	Design of Rain Drops	1934	ゼラチン・シルバー プリント	240×271	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表にサイン・タイト ル、裏にサイン・タイトル、 サロン出品票	
10013270	福 光太郎	In the Early Morning	1934	ゼラチン・シルバー プリント	328×255	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、スタンプ	
10013271	福 光太郎	En Route	1934	ゼラチン・シルバー プリント	252×304	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、スタンプ	
10013272	福 光太郎	The Campus	1933	ゼラチン・シルバー プリント	260×340	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013273	福 光太郎	Lull	1934	ゼラチン・シルバー プリント	254×314	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、スタンプ	
10013274	福 光太郎	題不詳 (Sticks of Incense)	1933	ゼラチン・シルバー プリント	340×249	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表にタイトル	森 永ユキオ 《Plegaria》と 同一作品の 可能性あり
10013275	福 光太郎	Going to Fishing	1934	ゼラチン・シルバー プリント	343×270	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013276	福 光太郎	On Parade	制作年 不詳	ゼラチン・シルバー プリント	245×286	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サイン	
10013277	福 光太郎	Master's Ashore	1934	ゼラチン・シルバー プリント	269×343	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
10013278	福 光太郎	The Prelude of Fishing	1935	ゼラチン・シルバー プリント	346×268	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、スタンプ、 サイン	
10013279	福 光太郎	Lucid Shadow	1934	ゼラチン・シルバー プリント	262×346	ヴァンテージ・ プリント	台紙、裏にタイトル、サロ ン出品票、サイン	
10013280	福 光太郎	題不詳 (Lens)	制作年 不詳	ゼラチン・シルバー プリント	277×354	ヴァンテージ・ プリント	台紙	
30105874	福 光太郎	The Autumnal Shower (B)	1934	ゼラチン・シルバー プリント	331×268	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル・ サイン、サロン出品票	10013261 と 同イメージ
30105875	福 光太郎	City Shadows (B)	1934	ゼラチン・シルバー プリント	347×267	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	10013262 と 同イメージ
30105876	福 光太郎	City Shadows (C)	1934	ゼラチン・シルバー プリント	332×246	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表にタイトル、サロ ン出品票、サイン	10013262 と 同イメージ
30105877	福 光太郎	Man-made Canyon (B)	1935	ゼラチン・シルバー プリント	339×262	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表にタイトル	10013263 と 同イメージ
30105878	福 光太郎	Nature's Rage	1934	ゼラチン・シルバー プリント	344×254	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、サイン	
30105879	福 光太郎	At the Dry Dock (B)	1935	ゼラチン・シルバー プリント	262×321	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 裏にサイン	10013265 と 同イメージ
30105880	福 光太郎	Tindal Play	1935	ゼラチン・シルバー プリント	263×340	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表・裏にタイトル、 サロン出品票、スタンプ	
30105881	福 光太郎	Seagull Assembly	制作年 不詳	ゼラチン・シルバー プリント	193×245	ヴァンテージ・ プリント	台紙、表にタイトル	
30105882	福 光太郎	題不詳 (車輪と枝)	制作年 不詳	ゼラチン・シルバー プリント	350×274	ヴァンテージ・ プリント	台紙	
30105883	福 光太郎	題不詳 (水鳥三羽)	制作年 不詳	ゼラチン・シルバー プリント	351×278	ヴァンテージ・ プリント	台紙	
30105884	福 光太郎	題不詳 (海辺の鳥)	制作年 不詳	ゼラチン・シルバー プリント	278×353	ヴァンテージ・ プリント	台紙	
30105885	福 光太郎	題不詳 (馬車)	制作年 不詳	ゼラチン・シルバー プリント	343×480	ヴァンテージ・ プリント		

在も続くアマチュア写真団体であり、創設は1933年10月。当時すでに多くのサロンへ出展していたその実績から福は会員の作品を審査する主席審査員として迎え入れられたようである。日本人のメンバーは福一人であった。35年、シアトルで「福光太郎個人写真展覧会」を開催。36年に帰国。37年には「福光太郎芸術写真展覧会」を開催した。この展覧会は8月20日より10日間にわたって東京の三越百貨店4階で催され『アサヒカメラ』1937年7月号に掲載された本展の告知広告によれば当館に所蔵されている《The Campus》、《City Shadows》(巻頭図1、図4)と同一イメージの作品が出展されていたようである。同年の『アサヒカメラ』においては「福光太郎傑作集」(1937年10月号)として福の作品8点を掲載する特集が生まれ、また「アマチュア写真界の新動向」(1937年8月号)、「アマチュア写真家の作画について」、「秋の郊外風景撮影要領」(1937年10月号)などの寄稿文を確認することができた。40年頃から日本大学藝術科写真専攻の講師を1年間務め、戦後は東京の京橋で写真館を営むが後年はあまり写真を撮らず古物商を営んでいたという。シアトル滞在時代から写真の師としても活躍していた福のもとには、写真を撮らなくなってしまった晩年にも海外からの来客があった。また福の家には画家の中村研一(1895-1967)が出入りしていたという証言もあり、文化人の集まる場であったのかもしれない。

3. シアトルにおける在米日本人のピクトリアリズム

福の作品について述べる前にその背景として1920年頃から30年代までのシアトルにおける在米日本人のピクトリアリズムについて論じる。

ピクトリアリズムは19世紀末から20世紀初頭における写真の芸術性を追求しようとする動向である。その作品はピクトリアル・フォトグラフィー(絵画的な写真)と呼ばれ、イギリスを中心に世界的な規模をもって展開されていた。1920年頃にはカメラの大衆化も進み、米国においても多くのピクトリアリズムの作家が活動していたのである。

シアトルでは1896年横浜との間に定期航路便が設けられ日本人移民の歴史が始まった。1900年に日本人会が設立されシアトルの東南に日本人街が形成されてゆく。1930年のシアトルには約8500人の日系人が住み、福が住んでいたというジョン・ストリート1507番地はこの日本人街から約2キロ北に位置する。シアトルには福が来る以前から在米日本人らによってカメラクラブが結成されている。このカメラクラブはシアトルカメラクラブ(Seattle Camera Club)(以下、SCCと表記する)と呼ばれ、1924年に外科医の小池晩人を中心に創設された。創設時のメンバーは39人ですべてが日本人。皆それぞれに写真家以外の顔を持ったいわゆるアマチュアの写真家であった。1925年メンバーは増え、その中には6名の女性を含む白人の会員がいたという。SCCはシアトルにおける唯一のカメラクラブであり、「藝術に國境あるべからず^{❖2}」という信念のもと入会には人種を問わず、会報誌の『濃淡』も日英両文で

❖2 小池晩人「シアトルカメラ倶楽部の解散」
『カメラ』1930年2月号、102頁。

- ❖3 小池晩人「シアトルカメラ倶楽部の解散」『カメラ』1930年2月号、103頁。

- ❖4 小池晩人「日本人作家活躍の巻」『アサヒカメラ』1929年9月号、261頁。

- ❖5 こういった批判の中には人種差別的なものも含まれていた。米国のピクトリアリズム写真界における人種差別については小池晩人が「米國に於ける藝術寫真界の一波瀾」『アサヒカメラ』1929年12月号、「シアトルカメラ倶楽部の解散」『カメラ』1930年2月号で問題としている。



図3
河野浅八《水の流れ》1920-1939年、
ゼラチン・シルバー・プリント、
東京都写真美術館蔵



図4
河野浅八《Perpetual motion #1》
1920-1939年、ゼラチン・シルバー・プリント

あった。しかし現実的には日本人のメンバーが多く、米国においては日本人のピクトリアリズム写真団体として認知されていたようである。SCCのメンバーの作品は国際的に評価された。1926年には会員21名の作品589枚が33のサロンに選ばれ、在米日本人写真家のグループの中で最も写真展やサロンに入選者を多く輩出したグループとなった。

SCCのメンバーをはじめとする1920年代後半の在米日本人写真家のピクトリアリズム写真界における活躍は目を見張るものがある。1929年、ニューヨークのアートセンターで開催された第3回米国写真家国際サロンでは全199点の出品作品の内、米国内の出品数が172点、その中で33点が在米日本人による作品であったという。このような在米日本人の活躍は、アメリカのピクトリアリズムに大きな足跡を残した。彼らの作品には構図や光と影のパターンにおいて特殊性が認められ、日本の美術に影響を受けた民族的なものであると理解された。つまり、作品における余白を多くとった構図や、遠近法的な空間描写をとらず対象を平面的に捉えるといった表現が浮世絵版画に代表されるジャポニスム要素として受けとられたのである。実際にこの時代の在米日本人の作品を見ると、比較的古典的なピクトリアリズムの作品と共にクローズアップやトリミング、俯瞰描写によって対象を抽象化した平面的でデコラティブな作品を確認することができる。こうした在米日本人の作風については従来のピクトリアリズムに新たな風を吹き込んだとしての評価がある反面、「奇抜」として批判する意見もあったという。

もちろん一口に在米日本人と言っても皆が抽象的なピクトリアリズム作品を制作していたわけではない。しかしジャポニスム要素が彼らの作品を形作るにおいて重要なキーワードになっていた事は間違いないだろう。当時のアメリカで特に名前が挙げられる在米日本人のカメラクラブとしては先述したSCCの他にサンフランシスコ日本人カメラクラブ (Japanese Camera Club of San Francisco [JCCSF])、カリフォルニア日本人カメラ・ピクトリアリスト (Japanese Camera Pictorialists of California [JCPC])、ニューヨーク日本カメラクラブ (Nippon Camera Club of New York) などがある。この中で最も抽象的なピクトリアリズムを推進したのがJCPCで、代表的な作家として河野浅八が挙げられる。当館に所蔵されている河野の《水の流れ》【図3】は線的なふくらみを持った水の流れが美しく描写され、表現の中心が水の流れの形状にあることがわかる。特別な視覚的効果を与えてくれる水は抽象的なピクトリアリズムの作品を制作する作家にとって重要な被写体であったに違いない。また《Perpetual motion #1》【図4】はダイナミックな光の渦を表した完全に非具象の作品である。この作品はカメラ・ピクトリアリスト・オブ・ロサンゼルス (Camera Pictorialists of Los Angeles) が1931年に国際サロンのために出版した『The Pictorialist』に掲載された。

JCPCの作品と比較すると、SCCの作品はどちらかというと風景などを抒情的に撮影した古典的なピクトリアリズムがその根底にあるように思う。しかしSCCの指導者であった小池晩人は『アルス

写真大講座 第12巻』で以下のように述べている。

私は常に日本人の執る可き唯一の道は、固有の芸術に立脚して斯界の立つにありと信じ、自己の成績に関して必ずしもこれを顧みるに及ばざるも、日本芸術の誤解に対しては飽くまでこれに抗争して敢て下らざるなからんを最善とする。殊に近來欧米の芸術写真家が行詰つた方面を展開せんとして漸く日本の芸術に注目に至つた折から、却つて本国の人たちが強ひて外国風なものをつくらんとするのは無意義の甚だしきものである。私は敢て母国の芸術写真家が『願くばその欧化主義を捨てよ』といふ^{❖6}佛國批評家の忌憚なき忠言に傾聴せんことを希望して擱筆する。

❖6 小池晩人「海外藝術寫真界事情」『アルス写真大講座 第12巻』アルス、1931年、29頁。

この言説は日本の芸術写真家に向けて述べたものであるが、小池のピクトリアリズムに対する考えが欧米を真似するのではなく日本的なものに立脚すべきであるとしていることがわかる。

SCCが企画した写真サロンには在米日本人に留まることなく多くの応募があり、最後の写真展であった1929年には30カ国から200人以上の応募者による1000点以上の作品が集まり記録的な展覧会となった。SCCが国際的にも注目を集めていたことがうかがえる。

しかしながらSCCは福がシアトルで暮らすようになる前年の1929年に財政上の問題から解散してしまっている。ちょうど世界恐慌の始まる年であった。

4. 福光太郎の作品について

当館に所蔵されている福の写真作品と写真資料は1933年から1935年に制作されたものである。福は自身の作品について「シアトルにゐました先輩で相当上手な人がゐまして、その人のプリントと自分のプリントを較べて見ると、どうも工合が悪い。なんとかしてこの色を出せないものか、いろいろ処方なんか訊くのですが、自分でやつて見るとどうも出ない。なんとかしてその色を出したい出したいと思つて力を入れてやりました。ところが二年ばかりの間にその人の色ではないけれども私独特の色が出せるやうになつた^{❖7}」と述べている。この“先輩”がSCCのメンバーであった可能性は高い。実際に福の作品には明らかにSCCのメンバーの作品と同じ場所で撮影したものや、構図、対象の選び方においてその影響が色濃く見てとれる。

❖7 「欧米の写真界を語る」『アサヒカメラ』1937年7月号、100頁。

ワシントン大学図書館の「Kyo Koike Photograph Collection」という小池晩人の遺品からなるコレクションには福が小池に宛てたグリーティングカードが含まれている。グリーティングカードには写真作品が印画されており、イメージとしては当館に所蔵されている《On Parade》(巻頭図8)と同一のものと、《Sunrise》と題された葦の生えた水景の日の出を写したもので、後者は当館には所蔵されておらず初出のものとなる。

小池晩人は、1878年島根に生まれ日本にいる頃から医師として働いていたという。1916年、38歳の時にシアトルにきた小池は日本人街の中心にあるエンパイア・ホテルの中に医院を開いた。小池の本名は小池恭といい、米国における先行研究ではこちらの名が採用されている。晩人は俳句を嗜んでいた小池の俳名であり、日本で出版された著作や雑誌に寄稿する際にはこちらを使用していた。小池は語学堪能で、1919年から1924年の間に約30冊の日本語の本を英訳している。1924年にシアトルカメラクラブを設立。会報として二月毎に出版されていた『濃淡』の編集や記事も小池によるものであった。また1934年には俳句の会「レイナー・ギンシャ」を設立。病気と俳句との関係に着目した句作、研究を行なった。住居をシアトルとしながらも、『アサヒカメラ』、『カメラ』、『フォトタイムス』などに芸術写真の国際的な動向を伝える記事を執筆。山岳写真にも造詣が深く『山岳写真の研究』（アルス、1933年）を出版している。また米国においても『Camera Craft』や『Photo-Era Magazine』等に在米日本人の作品に対する論考を寄稿している。写真家としても評価が高く、小池の作品は1926年から1927年の間に世界中で多く展示された。1929年には英国のロイヤル・フォトグラフィック・ソサエティの特別会員に任命されている。

国内外の写真に精通していた小池は福にとって良い指導者であったろう。福の《The Spirit of The Falls》（巻頭図2）とSCCの指導者であった小池晩人の《Thousand Thunders》^{❖8}（1932年）は同じく滝のイメージで、そして同じ場所から撮影されたものである可能性が高い。福の《The Spirit of The Falls》が1933年のものであるのに対し小池の《Thousand Thunders》は1932年の作品で比較的制作年も近い。SCCのメンバーは頻繁に撮影会や撮影旅行を行っていたという。SCCが解散した後もこのような撮影会が行なわれており、福もそれに参加していたのではないだろうか。また福の作品として当館に所蔵されている《題不詳（Sticks of Incense）》【図5】はSCCのメンバーであった森永ユキオの《Plegaria》^{❖10}という作品と同一のものである。森永の作品が1930年制作であるから、福の《題不詳（Sticks of Incense）》は同じ撮影会に参加して撮影したか、森永から譲り受けた可能性が高く、福がSCCのメンバーと交流を持っていたことがわかる。

福の作品は大きく二つの傾向に分けることができる。一つは《The Campus》や《In the Early Morning》、《City Shadows》（巻頭図1、図3、図4）などの作品に代表される都市を切り取ったもので、これはドキュメンタリー的な要素を持っている。福の作品はちょうど同じ時代にアメリカにおいて展開された社会問題を浮き彫りにするようなソーシャル・ドキュメンタリーとは異なる。それは社会変革といったような意思を持たず、ただ都市の風景を捉えたにすぎない。しかし一時の光の在り方やその場の空気、感情といった目に見えぬものが込められた、ある意味主観的な作品であったように思う。

もう一つは福の《The Autumnal Shower》、《Lucid Shadow》、《Lull》（巻頭図5、図6、図7）に代表される比較的抽象的な作品である。水紋や水の揺らめきのクローズアップは先述した1920年代の在米日本

❖8 以下のワシントン大学図書館のデジタルアーカイブにおいて作品を確認することができる。
<http://digitalcollections.lib.washington.edu/cdm/ref/collection/hupy/id/371>
 (最終アクセス日: 2018年1月21日)

❖9 ワシントン大学図書館のデジタルアーカイブには小池らの撮影旅行の動画も残されている。
 《Iwao Matsushita party picnicking on Mt. Rainier, 1935》と題された以下を参照。
<http://digitalcollections.lib.washington.edu/cdm/singleitem/collection/filmarch/id/47/rec/40>
 (最終アクセス日: 2018年1月21日)

❖10 名前の漢字が不明のためカタカナで記した。



図5 福光太郎《題不詳（Sticks of Incense）》1933年、ゼラチン・シルバー・プリント、東京都写真美術館蔵

人の抽象的なピクトリアリズムを汲んだものであると言えるだろう。福の作品は他にも水面の描写が含まれる作品が多く、彼の写真表現において水面の形象が重要なモチーフであったことは間違いない。

SCC が解散した後の 1930 年代のシアトルはピクトリアリズムの作家にとって 1940 年に小池ら SCC の元メンバーを中心にシアトル日本人カメラクラブ (The Seattle Japanese Camera Club) が設立されるまでの空白の時代でもあった。この空白には 1929 年から始まった世界恐慌と二つの大戦の狭間という時代の緊張状態が大きく影響していた。その中で福は在米日本人のピクトリアリズムを吸収し、自身の作風を形成していった。その過程には小池晩人や SCC のメンバーの影響が少なくはなかつたろう。福の活躍はこの時代において特出したものとなった。その事は福が自ら残した新聞の切り抜き [図 6] からわかる。記事には、福の作品が世界各国の多くのサロンで選ばれたことが書かれている。当館に所蔵されている作品の裏面をみると多くのサロンラベルが確認でき、福が積極的に国内外のサロンに自分の作品を出品していたことがわかる。作品とその出展サロンについては [資料 2] にまとめ、文末に掲載している。そのラベルの発行国はアメリカの各都市に始まり、ヨーロッパ、アジア、日本、果ては南アフリカ共和国にまで及び、福の作品が欧米を中心に多くの都市を駆け回ったことがわかる [図 7] [図 8]。

5. おわりに

福は 1936 年帰国している。その理由はわかっていない。しかし 1930 年代という不安定な情勢が理由の一つであったことは想像に難くない。1941 年、真珠湾攻撃によって在米日本人の困窮は決定的なものとなる。1942 年、約 11 万人の日本人・日系人が収容所に送られ、カメラを持つこと自体が違法とされる。これによって在米日本人の写真家たちの活動は完全に潰れてしまった。その後の在米写真家たちの苦難と失われてしまった多くの作品を考えると、福の作品が現在残っていることは幸運であったように思う。

最後に本稿の執筆については当館学芸員の藤村里美氏、ワシントン大学図書館の Visual Materials Curator である Nicolette Bromberg 氏、福光太郎氏について親身にお話くださった長谷川義太郎氏に多大なるご協力を頂いた。心よりの感謝をここに表したい。



図 6
《City Shadows》と共に写る福光太郎。

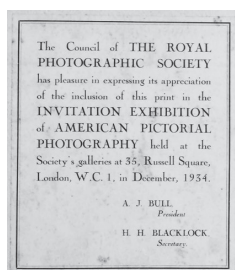


図 7
「Invitation Exhibition of American Pictorial Photography, The Royal Photographic Society」(1934 年、ロンドン) のサロンラベル

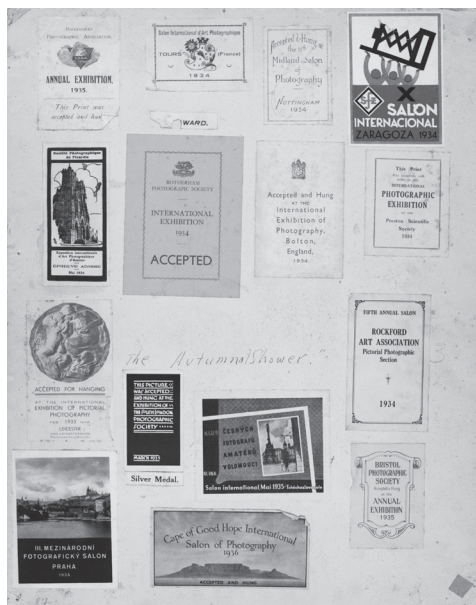


図 8
福光太郎《The Autumnal Shower (A)》裏面

❖11 シアトルの新聞「Seattle Post-Intelligencer」1941 年 12 月 29 日号には、カメラを持った小池が警察の検分を受けた記事が掲載されている。

* 原則として本文中の引用文の旧字体は新字体に改めた

【参考文献】

1920～1940年代の在米日本人のピクトリアル写真についてはアメリカでまとまった研究がなされている。本稿を書くにあたっては以下を参考とした。

デニス・リード、高野育郎・幸松菊子訳『日本人写真家たちの航跡：Japanese Photography in America 1920-1940』JICC 出版局、1986年。

David F. Martin, Nicolette Bromberg, *Shadows of a Fleeting World: Pictorial Photography and the Seattle Camera Club*, Washington: University of Washington Press, 2011.

Shelley Sang-hee Lee, *Claiming the Oriental Gateway: Prewar Seattle and Japanese America*, Philadelphia: Temple University Press, 2011.

Japanese American National Museum ed., *Making Waves Japanese American Photography, 1920-1940*, exh. cat., Japanese American National Museum, 2016.

資料2 *印を付記したものは資料として当館に収蔵されている

作品名	サロン名、団体名	出品年	開催地
The Autumnal Shower (A)	Annual Exhibition, Birkenhead Photographic Association Y.M.C.A	1935	バーケンヘッド、イギリス
	Salon International d'Art Photographique Tours (France)	1934	トゥール、フランス
	The 11th Midland Salon of Photography	1934	ノッティンガム、イギリス
	S.F.Z X Salon Internacional	1934	サラゴザ、スペイン
	Société Photographique de Picardie, Exposition Internationale d'Art Photographique d'Amiens	1934	ピカルディ、フランス
	International Exhibition, Rotherham Photographic Society	1934	ロザラム、イギリス
	International Exhibition of Photography	1934	ボルトン、イギリス
	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	International Exhibition of Pictorial Photography, Leicester and Leicestershire Photographic Society	1935	レスター、イギリス
	The South London Photographic Society	1935	ロンドン、イギリス
	Salon International, Klub českých Fotografů Amatérů v Olomouci	1935	オロモウツ、チェコ
	Fifth Annual Salon, Rockford Art Association Pictorial Photographic Section	1934	ロックフォード、アメリカ
	III. Mezinárodní Fotografický Salon Praha	1935	プラハ、チェコ
	Cape of Good Hope International Salon of Photography	1936	ケープタウン、南アフリカ共和国
Annual Exhibition, Bristol photographic Society	1935	ブリストル、イギリス	
City Shadows (A)	The twenty-second Pittsburgh Salon of Photographic Art	1935	ピッツバーグ、アメリカ
Man-made Canyon	Preston Scientific Society, The tenth International Photographic Exhibition	1935	プレストン、イギリス
	Boston Camera 1881 Club 1935 4th International Salon	1935	ボストン、アメリカ
The Spirit of The Falls	Internacional d'Art Fotografic Barcelona	1933	バルセロナ、スペイン
	Forth Irish Salon of Photography	1933	ダブリン、アイルランド
	Tenth International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1935	プレストン、イギリス
	Salon International d'Art Photographique Tours (France)	1934	トゥール、フランス
	XXVIII Salon International d'Art Photographique Paris, Société Française de Photographie et de Cinématographie	1933	パリ、フランス
At the Dry Dock (A)	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	Foto KLVB Livbliana Premier Salon International d'Art Photographique Ljubljana Yougoslavie	1934	リュブリャナ、スロベニア
	1er Salon International de Charleroi, Cercle Photographique de Charleroi	1934	シャルルロワ、ベルギー
	Salon International d'Art Photographique Tours (France)	1934	トゥール、フランス
	Rotherham Photographic Society International Exhibition	1934	ロザラム、イギリス
	The 11th Midland Salon of Photography	1934	ノッティンガム、イギリス
	Bristol photographic Society Annual Exhibition	1935	ブリストル、イギリス
Pictorial Photographic Section of Rockford Art Association at the Sixth Annual Salon	1935	ロックフォード、アメリカ	
Sand Snake	All-American Photographic Salon-12th Year	1933	アメリカ
Seclusion	Preston Scientific Society, The tenth International Photographic Exhibition	1935	プレストン、イギリス
	S.F.Z X Salon Internacional	1934	サラゴザ、スペイン
	XXIX Salon International d'Art Photographique Paris, Société Française de Photographie et de Cinématographie	1934	パリ、フランス
	International Exhibition, Rotherham Photographic Society	1934	ロザラム、イギリス
The Old Homestead	Tenth International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1935	プレストン、イギリス
	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	17th Annual International Salon, Camera Pictorialists of Los Angeles	1934	ロサンゼルス、アメリカ
Design of Rain Drops	Scottish National Salon	1935	エア、イギリス
	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	III Saló Internacional d'Art Fotografic Barcelona, Agrupació Fotografica de Catalunya	1935	バルセロナ、スペイン
	Annual Exhibition, Birkenhead Photographic Association Y.M.C.A	1934	バーケンヘッド、イギリス
In the Early Morning	Fourth Minneapolis Salon of Photography, Minneapolis Camera Club	1935	ミネアポリス、アメリカ
	Annual Exhibition, Birkenhead Photographic Association Y.M.C.A	1935	バーケンヘッド、イギリス
	Scottish National Salon	1935	エア、イギリス
	Annual Exhibition, Bristol photographic Society	1935	ブリストル、イギリス
	Toronto Salon	1934	トロント、アメリカ
En Route	Minneapolis Camera Club, University Gallery Northrup Auditorium at The University of Minnesota	1935	ミネアポリス、アメリカ
	Seattle Photographic Society	1934	シアトル、アメリカ
The Campus	Ile Salon International de Photographie de SPA (Belgique), Radio Photo Club de SPA	1934	ベルギー
	IX Salon Internacional, S.F.Z	1933	サラゴザ、スペイン
	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	Third International Photographic Salon of Hong Kong, University Union	1934	香港
	Scottish National Salon	1934	エア、イギリス
	VII Międzynarodowy Salon Fotografiki w Patacu Sztuki w Krakowie, Foto Klub Y.M.C.A	1933	クラクフ、ポーランド
	Asociation Belge de Photographie et de Cinematographie 1874-1934, Bruxelles XIIIe Salon	1934	ブリュッセル、ベルギー
	72nd Annual Open Exhibition, Edinburgh Photographic Salon	1934	エディンバラ、イギリス
	Second National Seaboard Salon of Photography, Seaboard Camera Stores	1934	フィラデルフィア、アメリカ
Lull	Third Minneapolis Salon of Photography, Minneapolis Camera Club	1934	ミネアポリス、アメリカ
	The South London Photographic Society	1935	ロンドン、イギリス
	II Internationaal Fotosalon Fotokring Excelsior Borgerhout, FAF	1935	アントウェルペン、ベルギー
	Seaboard Salon	1934	フィラデルフィア、アメリカ
	18th Annual International Photographic Salon, Camera Pictorialists of Los Angeles	1935	ロサンゼルス、アメリカ

作品名	サロン名、団体名	出品年	開催地
Lull	Fifth International Salon of Photography, California Pacific International Exposition	1935	サンディエゴ、アメリカ
	III. Mezinárodní Fotografický Salon	1935	ブラハ、チェコ
	Salon International, Klub českých Fotografů Amatérů v Olomouci	1935	オロモウツ、チェコ
	XXX Salon International d'Art Photographique Paris, Société Française de Photographie et de Cinématographie	1935	パリ、フランス
	Internationaal Kerstsalon "IRIS"	1935	アントウェルペン、ベルギー
	Internationale Focus Fotosalon	1935	アムステルダム、オランダ
Going to Fishing	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	Fifth Annual Salon Rockford Art Association Pictorial Photographic Section	1934	ロックフォード、アメリカ
	Salon International d'Art Photographique Tours (France)	1934	トゥール、フランス
Master's Ashore	第七回国際写真サロン、全日本写真連盟	1934	東京、大阪、日本
	XXIX Salon International d'Art Photographique Paris, Société Française de Photographie et de Cinématographie	1934	パリ、フランス
	Fourth International Photographic Salon, Syracuse Camera Club, Y.M.C.A	1934	シラキュース、アメリカ
	The South London Photographic Society	1935	ロンドン、イギリス
	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	The 11th Midland Salon of Photography	1934	ノッティンガム、イギリス
	Annual Exhibition, Birkenhead Photographic Association Y.M.C.A	1934	バーケンヘッド、イギリス
	London Salon of Photography	1934	ロンドン、イギリス
	Foto KLVB Livblana Premier Salon, International d'Art Photographique Ljubljana Yougoslavie	1934	リュブリャナ、スロベニア
Rotherham Photographic Society International Exhibition	1934	ロザラム、イギリス	
The Prelude of Fishing	Annual Exhibition, Birkenhead Photographic Association Y.M.C.A	1935	バーケンヘッド、イギリス
	4th International Salon, Boston Camera 1881 Club 1935	1935	ボストン、アメリカ
	Sixth Annual Salon, Pictorial Photographic Section of Rockford Art Association	1935	ロックフォード、アメリカ
Lucid Shadow	All-American Photographic Salon-13th Year	1934	アメリカ
	18th Annual International Salon, Camera Pictorialists of Los Angeles	1935	ロサンゼルス、アメリカ
	London Salon of Photography	1934	ロンドン、イギリス
	Annual Exhibition, Birkenhead Photographic Association Y.M.C.A	1935	バーケンヘッド、イギリス
Tidal Play*	Fifth International Salon of Photography, California Pacific International Exposition	1935	サンディエゴ、アメリカ
	XXX Salon International d'Art Photographique Paris, Société Française de Photographie et de Cinématographie	1935	パリ、フランス
	Minneapolis Camera Club, University Gallery Northrup Auditorium at The University of Minnesota	1935	ミネアポリス、アメリカ
The Nature's Rage*	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1934	プレストン、イギリス
	VII Międzynarodowy Salon Fotografiki w Patacu Sztuki w Krakowie, Foto Klub Y.M.C.A	1933	クラクフ、ポーランド
	Foto KLVB Livblana Premier Salon International d'Art Photographique Ljubljana Yougoslavie	1934	リュブリャナ、スロベニア
	8' International Kerst Salon, Fotografische Kring IRIS	1934-35	アントウェルペン、ベルギー
	III. Nemzetközi Művészeti Fényképek Kiállítás Sopron	1934	ショプロン、ハンガリー
	The South London Photographic Society	1935	ロンドン、イギリス
	International Exhibition, Rotherham Photographic Society	1934	ロザラム、イギリス
Société Photographique de Picardie, Exposition Internationale d'Art Photographique d'Amiens	1934	ピカルディ、フランス	
At the Dry Dock (B)*	Lancaster International Salon	1935	ランカスター、不明
City Shadow (B)*	Société Photographique de Picardie, Exposition Internationale d'Art Photographique d'Amiens	1934	ピカルディ、フランス
	Pictorial Photographic Section of Rockford Art Association at the Sixth Annual Salon	1935	ロックフォード、アメリカ
	IIe Salon International de Photographie de SPA (Belgique), Radio Photo Club de SPA	1934	ベルギー
	Third Detroit Salon of Pictorial Photography, Detroit Institute of Arts	不明	デトロイト、アメリカ
	Third Annual Minneapolis Salon of Photography, Minneapolis Camera Club	1934	ミネアポリス、アメリカ
	43rd Toronto Salon of Photography, Toronto Camera Club	1934	トロント、アメリカ
	Association Belge de Photographie et de Cinématographie 1874-1934, Bruxelles XIIIe Salon	1934	ブリュッセル、ベルギー
	Third Annual Salon, The Boston Camera Club	1934	ボストン、アメリカ
	All-American Photographic Salon-13th Year	1934	アメリカ
	Second National Seaboard Salon of Photography, Seaboard Camera Stores	1934	フィラデルフィア、アメリカ
	Forteenth Annual Competition, American Photography	不明	アメリカ
	Foto KLVB Livblana Premier Salon International d'Art Photographique Ljubljana Yougoslavie	1934	リュブリャナ、スロベニア
International Exhibition, Rotherham Photographic Society	1934	ロザラム、イギリス	
City Shadows (C)*	S.E.Z X Salon Internacional	1934	サラゴサ、スペイン
	Fourth International Salon of Photography, The Camera Enthusiasts	1934	サンディエゴ、アメリカ
	II Internationaal Fotosalon Fotokring Excelsior Borgerhout, FAF	1935	アントウェルペン、ベルギー
	International Exhibition of Pictorial Photography, Leicester and Leicestershire Photographic Society	1935	レスター、イギリス
	XXIX Salon International d'Art Photographique Paris, Société Française de Photographie et de Cinématographie	1934	パリ、フランス
	International Photographic Exhibition, Preston Scientific Society	1935	プレストン、イギリス
	Annual Exhibition, Bristol Photographic Society	1935	ブリストル、イギリス
	International Salon of Photographic Art, Photo Pictorialists of Milwaukee	1935	ミルウォーキー、アメリカ
	Internationale Focus Fotosalon	1935	アムステルダム、オランダ
The Autumnal Shower (B)*	National Academy of Design, American Pictorial photography	1935	ニューヨーク、アメリカ
	Invitation Exhibition of American Pictorial Photography, The Royal Photographic Society	1934	ロンドン、イギリス
	Smithsonian Institution U.S. National Museum	1935	ワシントン、アメリカ
	XXX Salon International d'Art Photographique Paris, Société Française de Photographie et de Cinématographie	1935	パリ、フランス
	The Art Center School	1935	ロサンゼルス、アメリカ
	The School of Applied Art, Rochester Athesacum	不明	ロチェスター、アメリカ
	The Museum of Science and Industry, Chicago Camera Club	1935	シカゴ、アメリカ